

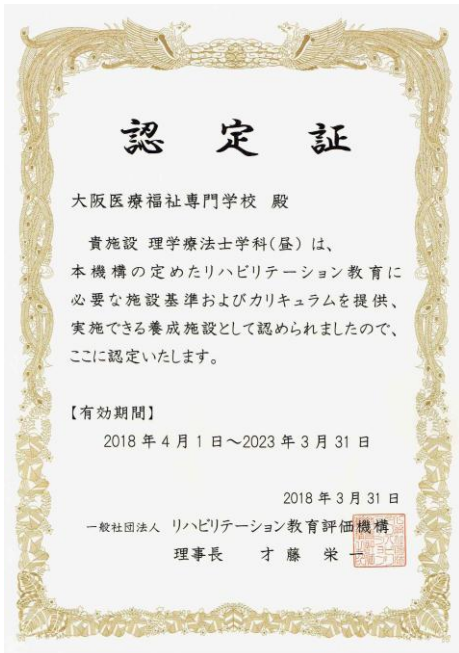
リハビリテーション教育評価機構認定について

2013年3月31日付で認定されていました「一般社団法人リハビリテーション教育評価機構（※1）」の5年間の有効期間の最終年度に当たり、2018年3月31日付で2回目の認定審査（書類審査および実地調査など）を受審しました。理学療法士学科（昼間部・夜間部）、作業療法士学科（昼間部・夜間部）、言語療法士学科が、評価基準を満たしているとしてリハビリテーション教育評価機構の認定を受けました。

作業療法士学科（昼間部・夜間部）は、この審査が「WFOT（World Federation of Occupational Therapists：世界作業療法士連盟）（※2）」の認定審査を兼ねており、世界基準の認定を頂きました。

（※1）「一般社団法人リハビリテーション教育評価機構」は、全国のリハビリテーション教育施設の「教育の質」を保証するため、養成校に対して公正かつ適正な審査を行い、その教育施設の優れている点や課題を明らかにすることを目的としており、中立的な第三者機関として教育評価を行う評価機関です。

（※2）「WFOT（World Federation of Occupational Therapists：世界作業療法士連盟）」は、1952年に作業療法士の世界的な組織として設立されました。目的としては、各国の作業療法士協会や、専門家グループの間の国際協力を推進したり、作業療法の技術を向上させることなどを挙げています。WFOTは養成校の教育水準についても認定を行っており、カリキュラムや教員数、臨床実習の時間が一定水準以上に達している学校に対してのみ与えられます。その水準は、日本の厚生労働省の基準よりも大幅に高いものとなっています。



理学療法士学科（昼間部）は「**人間力養成、他職種連携等積極的な教育を行っている**」点について特に高く評価されました。

理学療法士学科（夜間部）は「**人間力形成、他職種連携等積極的な教育を行っている**」点について特に高く評価されました。

言語聴覚士学科は「**ことばの相談室を設置し、実践教育を実践している**」点について特に高く評価されました。



作業療法士学科（昼間部）は「**コミュニケーション、キャリア研修の面で工夫が見られる**」点について特に高く評価されました。

作業療法士学科（夜間部）は「**コミュニケーション、キャリア研修の面で工夫が見られる**」点について特に高く評価されました。